

持続的成長の源泉

マテリアリティ

タキロンシーアイグループは、SDGsをはじめとする社会課題やESG(環境・社会・ガバナンス)に関する社会的要請の変化を踏まえ、優先的に取り組むべきマテリアリティ(サステナビリティ上の重要課題)10項目を2019年度に決めました。

各項目の数値目標を3か年にわたる「マテリアリティ中期計画」として設定し、サステナビリティ経営を実践的に推進する体制を整備しています。



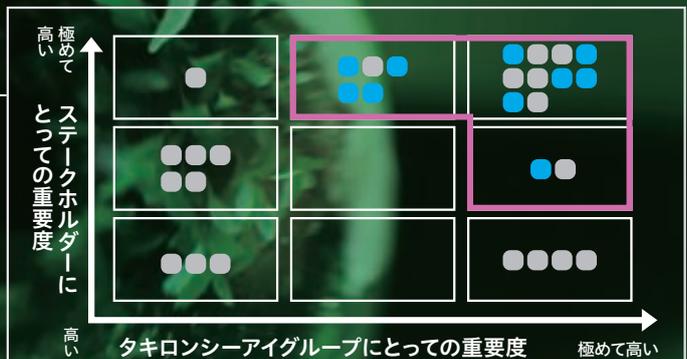
マテリアリティ特定のプロセス

企業理念および国連グローバル・コンパクト、SDGs、ISO26000、OECD多国籍企業ガイドライン等を念頭に、マテリアリティ候補項目について社内各部門へのヒアリングを実施。その後当社グループおよびステークホルダーを取り巻く社会環境・事業環境、社会トレンドを参考に、リスクと機会、メリットとデメリットの観点から、今後の当社の企業価値創造への取り組みを検証のうえ、マテリアリティ候補30項目をリスト

アップしました。候補に対して、定量・定性面の社内評価、社外有識者のアドバイスを基に優先付け・重み付けを行い、マトリックスを作成。さらに社内外メンバーによる議論、意見、アンケート等を踏まえて絞り込みを行い、最終的に経営メンバーによるレビューを経てマテリアリティ10項目を特定し、各項目についての「将来の目指す姿」「戦略」「評価の基準(KPI)」「年度別中期目標案」を決定しました。



マテリアリティ・マトリックス



マテリアリティ10項目を特定

マテリアリティ・特定プロセスの詳細はWebサイトに掲載しています。
<https://www.takiron-ci.co.jp/sustainability/policy/materiality.html>